

大泉町教育委員会協議会会議録

1 日 時 令和2年6月30日（火）午後1時30分から午後2時00分まで

2 出席者

國井教育長、高倉委員、福田委員、秩父委員、大塚委員

3 出席職員

大澤教育部長、千吉良教育管理課長、竹田教育指導課長、金井こども課長、
村田生涯学習課長、齊藤書記

4 傍聴人

なし

5 議事、協議及び報告事項

- 教育長報告
- (1) 令和2年第2回大泉町議会定例会について
 - (2) 大泉町子育て世代包括支援センターの設置について
 - (3) ひとり親世帯臨時特別給付金について
 - (4) 戦後75周年特別企画展の開催について

その他

6 議事内容

國井教育長 これから教育委員会協議会を開催いたします。

日程第1 前回会議録の承認について

事前に配付させていただきました会議録について、今回は5月26日開催の
会議録でございますが、何かご意見等ございますでしょうか。

(なし)

ないようですので、教育委員会議録のご署名を、秩父委員さん、大塚委員さ
んに会議終了後、お願いいたします。

続きまして、日程第2 教育長報告に入ります。

(1) 令和2年第2回大泉町議会定例会についてでございますが、開催につ
きましては、6月9日と11日の2日間開催されました。議案は28議案ご
ざいました。その中の議案第24号、教育委員会の教育長の任命については、
教育長の私が退任ということ、新しい教育長は柴崎誠一さんが任命された
ということでございます。そして、議案第25号、教育委員会の委員の任命に
ついては、大塚委員さんが再任されたということで決まりました。その他の
教育委員会に関する議案については、大澤部長から報告させていただきます。

大澤部長 それでは、先程の教育長からの報告以外をご報告させていただきます。

まず、承認第4号 専決処分の承認を求めることについて、令和2年度大泉町一般会計補正予算（第1号）でございますが、こちらは5月11日の教育委員会議にてご報告させていただきました案件でございますが、新型コロナウイルス感染症対策として、町独自の生活支援パッケージ等に係る予算を措置したものでございまして、議会を招集する時間的余裕がなく、やむを得ず専決させていただきましたものをご承認いただきました。教育委員会関係の補正予算の総額は800万9千円の追加でございました。

続きまして、資料2ページをご覧ください。議案第37号 令和2年度大泉町一般会計補正予算（第2号）についてでございます。こちらにつきましても、教育委員会の補正予算について、5月26日に開催されました教育委員会議にてご承認いただきました内容のとおり、歳入6,664万6千円、歳出7,081万7千円の追加をご承認いただきました。

続きまして、一般質問でございます。資料の3ページをお願いいたします。こちらにつきましては、3人の議員さんからご質問いただきまして、その内2人の議員さんから教育委員会関係のご質問がございました。まず、堀越幸広議員の件名1、新型コロナウイルス感染症による小中学校での対応についてでございますが、答弁内容といたしましては、6月1日からの分散登校期間中は、児童生徒の心の安定に配慮しつつ、スムーズに学校生活へ移行できるよう丁寧に教育活動を進めていく。また、臨時休校による学習状況については、各学校との学校再開時の教育活動へ繋げるため、それぞれ創意工夫をしながら、学習状況を把握し、確認や支援を行う様々な取り組みを継続的に実施しておりました。また、補習指導などを行うことにより、学力格差にも対応してまいりたいと答えいたしました。学校再開後の学習指導については、教師の力量の平準化に取り組むとともに、教師個々の思いや考えを生かしながら力量をさらに伸ばすことで、子ども達の成長に結びつけていきたい。そして適正な学習生活環境づくりについては、臨時休校をマイナスとして捉えるだけでなく、子ども達の将来に何らかの形で生かすことができるよう、日々の教育活動を意識して工夫していくとともに、児童生徒の学びを保障するため、学習環境、生活環境を適切に保ちながら学校の教育活動を前へ進めてまいりたいと答弁をいたしました。

続きまして、田邊信雄議員の件名1、学校教育についてでございますが、答弁内容といたしましては、授業日数の確保について、県教育委員会からの長期休業の短縮日数が県内で一律になるよう、県の要請等を踏まえまして、本町でも夏季休業等の短縮により授業日数を確保していきたい。土曜日の授業については、児童生徒への過重な負担となるため、一学期中は実施はしない。ただし、今後授業日の減少などがあれば、二学期からの土曜授業は具体的に検討する必要があると答えをいたしました。

教科等指導時数の確保については、県教育委員会の年間指導計画の案に基づき、綿密な指導計画を作成し、実質的な授業の確保を図るとともに、学校の行事についても、県のガイドラインを踏まえ、感染防止や、授業時数確保の

観点から、その時々状況によりの確に判断してまいりたいと答弁をいたしました。以上で第2回定例会の報告とさせていただきます。

国井教育長 報告が終わりました。ご質問等ございますでしょうか。

(意見なし)

ないようでしたら、次の報告へ進めさせていただきます。

続いて、(2)大泉町子育て世代包括支援センターの設置について、

(3)ひとり親世帯臨時特別給付金についてでございますが、続けて報告させていただきます。それでは、金井課長お願いします。

金井課長 大泉町子育て世代包括支援センターにつきましては、前回の教育委員会議で報告しなければなりませんでした。報告が遅れまして、申し訳ありませんでした。

それでは、報告させていただきます。資料4ページをお願いいたします。

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供することを目的といたしまして、子育て世代包括支援センターを設置いたしました。窓口といたしましては、健康づくり課と、こども課になります。それぞれの課の事業内容は記載のとおりでございますが、支援センターの役割として重要なものが、健康づくり課の3つ目、支援プランの作成というものがございます。こちらのプランを作成する中で、特に支援を必要な方に対して、健康づくり課とこども課で連携をして支援に当たっていくこととなります。事業開始日につきましては、6月1日でございます。体系図につきましては、事業内容等をわかりやすく図で表したものでございます。以上でございます。

続きまして、ひとり親世帯臨時特別給付金につきまして、説明をさせていただきます。資料5ページをお願いいたします。新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、国の第2次補正予算により、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける、ひとり親世帯に対しまして、臨時特別給付金が支給されることになりました。実施主体につきましては、都道府県、市及び福祉事務所設置町村となりまして、本町は群馬県が支給することになります。対象といたしましては、3種類ございまして①令和2年6月分の児童扶養手当が支給されている方で、こちらの方は特に申請の必要はございません。次の②公的年金給付等を受けていることにより、児童扶養手当の支給を受けていない方。また、③所得制限などによりまして、児童扶養手当を受給していない方で、直近の収入が減少いたしまして、所得限度額以下になった方、となっております。なお、①と②の対象者に対しましては、収入が大きく減少された方には、追加支給があります。給付額につきましては、1世帯5万円で、第2子以降1人につき3万円が加算されます。追加給付につきましては、1世帯5万円でございます。支給スケジュールにつきましては、①の対象者の方は8月までに支給。②③及び追加給付の方につきましては、9月以降の支給となっております。町の事務といたしましては、周知広報、②③及び追加給付の申請書を県へ進達いたします。以上でございます。

国井教育長 2つの項目について、続けて報告いたしました。ご質問等ございますでしょ

うか。

(意見なし)

ひとり親世帯臨時特別給付金につきまして、実施主体が県でありますし、子育て世代包括支援センターについては、健康づくり課とこども課が今まで以上に連携を密にして切れ目のない支援をするということでご理解いただきたいと思います。それでは、次の報告へ進めさせていただきます。

(4) 戦後75周年特別企画展の開催について、村田課長お願いします。

村田課長

資料の6ページをお願いいたします。戦後75周年特別企画展、戦争資料で見る戦前・戦中下の暮らしについて、戦後70周年に際しまして開催いたしました企画展、大泉町の戦中・戦後展では、来場者の方から今後の節目の年に再び開催を望む声が寄せられましたことから、75周年という節目を迎えた今年、新たな資料等を加え、企画展を開催することといたしました。改めて戦争という悲惨な歴史を顧みるとともに、これからの平和な未来について考える機会として見学にお越しいただければと思います。日時でございますが、令和2年8月14日(金)から8月20日(木)までの7日間、午前9時から午後4時30分まで。会場は、大泉町公民館ホールでございます。お願いといたしまして、新型コロナウイルス感染症対策により、来場時にはマスクを着用していただくこと。発熱がある場合は、来場を控えていただくこと。また、来場者の混み具合によっては、入場制限等も考えております。お手元に配付してございます、各教育委員さんへのご案内でございますが、お忙しいと存じますが、ご来場いただければ幸いです。周知につきましては、町内小中学校及び大泉高校、西邑楽高校、また老人クラブの各団体にチラシを配って周知していきたいと考えております。また、町ホームページ、広報おおいずみ7月10日号で周知を図ってきたいと思います。以上でございます。

國井教育長

大変力を入れた企画展となっております。ご質問等ございますでしょうか。

(意見なし)

ぜひ来場いただければと思います。それでは、教育長報告は以上といたします。

続いて、日程第3 その他でございますが、始めに事務局からお願いします。

村田課長

引き続き、ご説明させていただきます。お手元の資料をご覧ください。配付させていただきました資料2枚について、まず、第64回大泉町民体育祭の中止についてでございますが、本年10月11日に開催を予定しておりました町民体育祭につきましては、町民体育祭検討委員会におきまして協議を行った結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止と参加者の安全を考慮し、今年度につきましては中止とさせていただきます。なお、周知につきましては、各自治会長及び関係団体へ通知を送付するとともに、広報おおいずみ8月10日号および町ホームページにおいて掲載し、周知いたします。

続きまして、もう1枚の資料をご覧ください。町ぐるみ人権教育大会の中止

についてでございます。例年11月に開催しております、町ぐるみ人権教育大会につきましても、新型コロナウイルス感染症拡大防止と参加者の安全を考慮し、今年度につきましても中止とさせていただきます。周知につきましては、後援をいただいております団体に対しまして通知を送付するとともに、町ホームページに掲載し、周知を図りたいと思います。以上でございます。

國井教育長 その他で2点連絡がございました。

委員さんから何かございますでしょうか。

福田委員 町民体育祭、町ぐるみ人権大会が中止となりましたが、学校行事の修学旅行やスキー教室、林間学校、プール授業、体育祭などはどのように考えていますか。

竹田課長 様々な学校行事をどのようにするかということにつきましては、校長会議で現在の状況をみながら検討しているところでございます。修学旅行については、中学校は当初9月に予定しておりましたが、11月頃に延期し、その時点での感染状況を確認し、可能であれば実施したいと考えております。ですが、奈良・京都方面の修学旅行ですので、事前準備も時間が掛かることから、9月中旬頃までに実施の可否について決定したいと学校は考えております。小学校については、春に予定していたものを秋にずらし、その時点での感染状況を確認し、行き先も検討しながら実施の可否について検討しております。小学校は東京の国会議事堂見学もありますので、東京都への修学旅行や神奈川県鎌倉市江ノ島についても検討しております。小学校の運動会については、町民体育祭の実施の可否も大きな判断基準と校長も考えております。今回、中止が決まったことで学校として通年どおりの運動会は難しいとも思いますが、保護者のご意見も聞いているところですので、どのようにしたら実施可能かを、学年や日にちを分けて、運動会ではなく、運動発表として実施可能かなどを検討しております。プールについては、今年度の実施は難しいということで実施しないということを決めさせていただいております。毎年6月30日までに行われる予定の子ども達健康診断が行われておらず、耳鼻科や眼科の検診が行われない中、疾患をもつてのプールはできません。なお、心肺蘇生法でのAEDや人工呼吸の研修もできておらず、そういった観点から実施しないことを決めさせていただきました。

福田委員 わかりました。

國井教育長 ほかにいかがでしょうか。

(意見なし)

そうしましたら、正式な会議は私は本日が最後となりますが、3年間教育委員の皆様には大変お世話になりました。色々なことを勉強させていただきながら進めてきたつもりであります。改めて教育というものは難しいなと感じることが多くありました。学校という大きな組織に、教職員300人弱在籍しており、いろんな思いをもって子ども達のために指導にあたっている。その思いや指導を校長が集約し、教育委員会が指導や助言を行いながら、こちらも子ども達のために色々と進めてまいりました。

同じように、保育園や幼稚園もまた、子ども達の成長を楽しみに園業務にあたっている姿も見てまいりました。

組織として、教育をより良いものにしていく、大きな視点に立って方向性を決めていくという点においては、少し足らなかったかなと反省するところもありますが、併せて生涯学習については、愛着を持って社会教育には関わってまいりました。今年においては、高齢者の方が楽しみにしている高齢者教室等が中止となっていく状況が残念でなりませんでした。生涯学習教育に対して改めて考えさせられました。

こども課が進めている様々な事業は幅広く、きめ細やかで、正確に業務を行うために遅くまで職員が事務をしていること。さらに、こども課は保育園という現場を持ちながらの仕事ということで、教育委員会の中でそれぞれの部署が努力し、それらを大きく管轄し、全体をみている教育管理課があり、その中で私はなんとかやっけてこられたと思っております。長くなりましたが、本当にお世話になりました。今後ともよろしく申し上げます。

それでは、以上をもちまして教育委員会議を終了いたします。

上記会議録は、正確であると認めます。

令和2年7月31日

署名 教育長

署名 教育委員

署名 教育委員